

だれにも当てはまる日常のできごとを

人間味のある、あるがままの目でユーモラスに綴る

Cl diary #45

むーらん



10月29日（火）

昨日、通信販売でお茶を申し込んだのだが、その会社からメールがきた。「お茶缶を注文されていますが、初めて注文された方には、1個プレゼントさせてもらっていますので、今回どうされますか」といった内容。私の注文したものだけを事務的に送ることもできたのに、お茶缶が2個にならないように連絡してくださったのだ。丁寧な対応に感動してしまった。

11月14日（木）

マンションの登記の関係で法務局へ。対応してくださった男性は、態度や話し方などが威張っているような感じで、最初の印象は悪かった。でもしばらく話してみると、書類の書き方をとても親切に教えてくださることがわかった。私の質問にも、ひとつひとつ丁寧に答えてくださった。それであまり時間もかからず無事に手続きは終わった。人の印象と行動が違うことってよくあるみたい。

11月20日（水）

職場の参事が出張されることになった。「大橋の通行券はないの？」と訊かれ「うちの課では買ってないのです」と答えた。ところが、あとで予算書を見てみると、通行券こそないものの、道路などの通行料が、すこしだが予算化されていたのだ。参事にはすぐほんとうのことを伝えたが、よく確認しないで返事をしてしまったことを反省。

11月28日（木）

朝、職場のエレベーターに乗ったら、男性2人の会話が聞こえてきた。

「まだ毎日歩いているの?」「健康のためにね」

健康のために歩いている人が、エレベーター?私と同じ階段恐怖症とか、何か事情があるのかもしれないけれど。

11月29日（金）

更衣室にて。ある女性が「暖房が入ると、私すぐにほっぺが真っ赤になって恥ずかしい」とのこと。それが彼女のコンプレックスなのだ…。ふだんからあまり顔色のよくない私にとってはうらやましいことなのだけれど。

12月21日（土）

用事で京都まで出かけたとき、サンドイッチのお店に立ち寄った。並んで中身などを順番に注文していくのだが、私の後ろに並んでいた女性が、「私初めてで…」と話しかけてこられた。彼女がとてもフレンドリーな人で、私がパンの種類を選ぶと、彼女も「パンはそれがいいの?」「それは好みで、この中から選ぶのです」「あ、でも、私もそれにしよう」となんでも私と同じにしてくる。私が「トマト多めで」と言うと、お店の人が「お連れのかたは?」と。私たちはいつのまにか友達になっているではなか!人見知りの私にはなかなかこういった行動はできない。いや、行動しないだけなのかな。


12月25日（水）

私の職場では契約する業者を決めるときは、部内の課長の集まりで、その事業の内容について説明し、同意を得なければならない。今日は、私の担当するある契約について、説明する日。ずいぶん練習をして、説明はたぶん大丈夫だし、質問されてもきちんと答えられるだろうと思っていたのだが…。担当する契約について同意を得ることはできなかった。原因は事業の目的についての説明が不十分だったから。努力すれば成功する可能性は高くなるけれど、うまくいかないことだってもちろんある。

12月30日（月）

湖のそばに、むかし遊園地があったのだが、観覧車だけはずっと残されていた。今日の買い物の帰り、それがいつのまにか無くなっていることに気がついた。母によると、今度、外国へ運ばれて、使われることになったそう。とうとう無くなってしまって寂しい気もするが、錆びついてもう動くことはないのだろうな、と思っていたから、ほかの国で役にたってくれるなら、ほんとうによかったと思う。

（滋賀県滋賀郡CLインストラクター）

 [目次へ戻る](#)